

平成26年度第11回宮城大学食産業学部 教授会（定例）議事録

開催場所	管理棟 大会議室	開催日時	平成27年2月12日（木）13:00～14:20
出席者	<p>42名／定数47名 (ファームビジネス学科) 齋藤(満)教授，大竹教授，小林教授，井上教授，木村教授，中村(茂)教授，岩井准教授， 中村(聡)准教授，須田准教授，川島准教授，日渡准教授，紺屋講師 (フードビジネス学科) 津志田教授，石田教授，川村教授，西川教授，三石教授，堀田准教授，都准教授，白川准教授， 森田准教授，毛利准教授，金内准教授，石川准教授，菰田准教授，河西准教授，君塚准教授， 小島准教授，谷口助教，木下助教 (環境システム学科) 森山教授，岩堀教授，郷古教授，北辻教授，笠原教授，原田(茂)教授，原田(鉦)准教授， 神宮字准教授，千葉准教授，伊吹講師，高橋助教，柳澤助教</p> <p>〔欠席〕ファーム；森本教授，菊地准教授，斉藤(秀)助教 フード；老川准教授 環境；富樫教授</p>		
	(事務局) 羽田副参事，石澤課長補佐，岡崎主査		
議 事 内 容			
審議事項	<p>議事録署名人に学部長，笠原教授を指名した。</p> <p>(1) 平成26年度第10回食産業学部教授会議事録の確認について 平成26年度第10回食産業学部教授会議事録については，原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 平成26年度学生表彰について 紺屋学生委員より資料1に基づいて，4件の候補者について説明され，原案のとおり承認された。</p>		
報告事項	<p>(1) 平成27年度入学特別選抜（社会人・留学生）試験結果について 入学試験委員長より資料2に基づいて，平成26年12月13日に実施した平成27年度入学特別選抜（社会人・留学生）試験の結果が報告された。</p> <p>(2) 研究室の使用について 学部長より平成27年度に任用が予定されている特任教員の内，食産業学部特任教授3名（加藤特任教授，津志田特任教授，森山特任教授）及び共通教育センター特任准教授1名（マクドナルド特任准教授）の太白キャンパス研究棟内の研究室使用について，業務内容を勘案した結果必要性が認められたことから，予算施設委員会において使用が承認されたことが報告された。</p> <p>(3) 平成27年度当初予算要求について 学部長より別添資料に基づいて，食産業学部の平成27年度計画及び予算のヒアリング状況の報告がなされた。さらに，当初予算で要求している学部教育費及び教育改善経費による固定資産の購入について説明がなされた。</p>		

(4) 大学改革に関する資料の提出について

学部長より、平成 27 年 1 月 29 日付けで全教員あてに依頼のあった大学改革に向けた資料の提出についての説明がなされた。

(5) 平成 26 年度決算に係る購入依頼書等の提出について

学部長から資料 3 に基づいて、平成 26 年度法人決算に向け平成 27 年 1 月 9 日付け事務連絡で協力依頼がなされた購入依頼書等の提出期限について説明がなされた。受託研究等、継続して実験を行う必要のある研究等の外部資金による調達に関し、他の予算と同一の期限を設けることによる研究活動への影響について意見があり、再度企画財務課あてに確認することとなった。

(6) 全学委員会報告

●学部長会議

学部長より資料 5 に基づいて、サテライトキャンパスの移転について説明がなされた。

●大学改革推進本部会議

学部長より資料 7 に基づいて、大学改革に向けた各学部の教育ミッションや各ポリシーの検討状況が報告された。

●研究委員会

木村委員より資料 11 に基づいて、研究委員会所管事項に係る平成 26 年度計画の進捗状況が説明され、外部資金獲得の目標達成に向けた協力依頼がなされた。また、文部科学省による公的研究費の監査における指摘事項等に基づき、年度末の予算執行及び消耗品の管理における注意点が説明された。教員による適時の予算執行のための大学側の対応に関し、外部資金獲得時の遅滞ない事務手続き及び複数年度に渡る受託研究等資金の年度当初からの予算執行について要望が出された。事務部より外部資金に係る事務手続きについては来年度に向けて改善の検討を行うことが説明され、研究担当理事からは研究の妨げとならないよう制度上の問題点の改善を求めていくことが報告された。

●薬品管理専門委員会

木村委員より資料 12 に基づいて、試薬管理支援システムの検討状況が説明され、システム導入時等の協力について依頼がなされた。

●国際交流・留学生センター運営委員会

副センター長より資料 15 に基づいて、フランス SPF との協定に伴うフランスのメディアテーク開設の式典への協力依頼がなされた。また、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～」第 2 期生の最終選考の結果が報告され、宮城大学からは公立大学では首都大学東京と並んで最多となる 4 名が合格したことが説明された。

●地域連携センター運営委員会

副センター長より資料 16 に基づいて、サテライトキャンパス移転について補足説明がなされた。また、復興庁が開催している地域復興マッチング「結の場」について、宮城大学食産業学部の協力を要請されていることが報告され、被災地域企業への支援等について協力依頼がなされた。

(7) 学部委員会報告

●学生委員会

紺屋委員より資料 17 に基づいて、蔵王山の火山活動活発化に伴う平成 27 年度学生交流

